

熊本県内各地に建設されたくまもとアートポリスの建造物。現在58のプロジェクトが竣工。各地のまちづくりの拠点になっています。

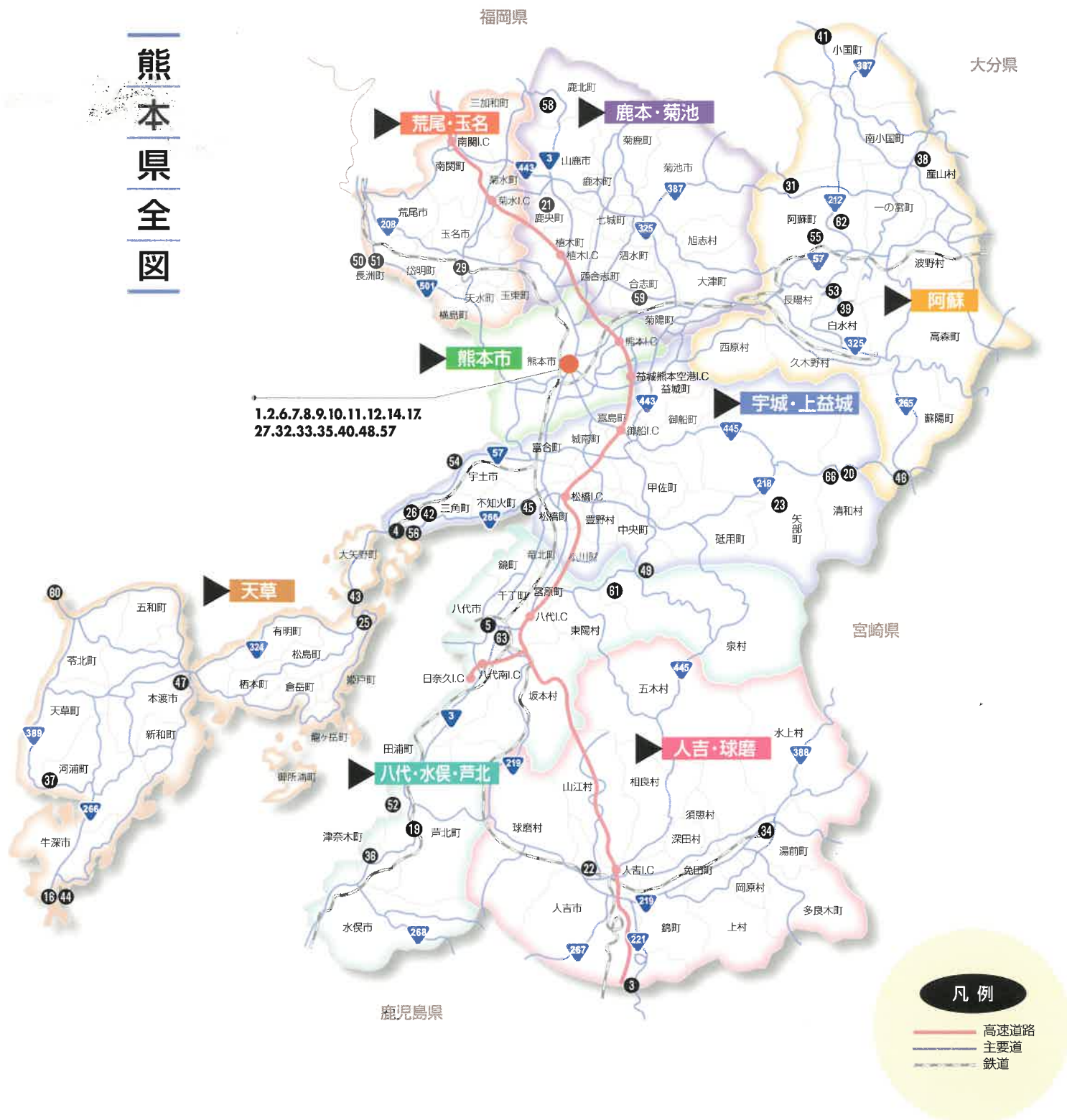
KUMAMOTO ARTPOLIS PROJECT MAP

くまもとアートポリス・プロジェクト・マップ

kumamoto artpolis news 26

くまもとアートポリスニュース第26号 2001年11月発行

熊本県全図



地図の番号はP9-10「くまもとアートポリスプロジェクトガイド」の各プロジェクト番号に対応しています。



巻頭特別インタビュー ● 画家 葉 祥明さん

建築は第二の自然といってもいい。
だから風景に美しくとけこむものであってほしい。

- 地域といきるアートポリス ● 完成プロジェクト紹介
- プロジェクトガイド ● プロジェクトマップ

● 発行—くまもとアートポリス事務局（熊本県土木部建築課内）
〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1 TEL 096-383-1111（内線6215/6230）FAX096-384-9820 <http://www.artpolis.net/>
● 撮影—石黒守、石丸捷一、大野繁、岡本公二、北島俊治、清島靖彦、富重清治、堀内広治、宮井政次、宮井正樹、八木光保、「新建築社」写真部、熊本県広報課、くまもとアートポリス事務局、中央印刷紙工（株）



kumamoto artpolis



Profile
葉祥明

画家、詩人、絵本作家。熊本市生まれ。1990年「風とひょう」でイタリア・ボローニャ国際児童図書展グラフィック賞受賞。1997年「イルカの星」(佼成出版社)でけんぶち絵本の里大賞受賞。主な作品に「地雷ではなく花をください」シリーズ(自由国民社)「心に響く声」シリーズ(愛育社)「ひかりの世界」「クジラの海」(佼成出版社)。

熊本市出身で世界的に活躍する画家、葉祥明さん。芸術家の視点で建築文化について話してもらった。

◆実は、大工さんになりたかった

建築、ですか？ ええ、興味ありますよ。実は僕、大工さんになりたかったんです。小さいころは。実家が商売をしていましたよ。しょっちゅう店を造っていた。よく建築現場に行っていました。何かができあがる時のワクワクした気持ちを僕は小さいころから知っていたんです。

◆風景の中の建築—
画家としての建築への視点

今でも建築には関心がありますね。僕は風景画家ですから、建物は絵になるかどうか、という見方をしてしまいます。景観はそれ自体すばらしく、でもそこに建物があると、もっと風景として魅力的になってくれればいいですね。建物は気候・風土に合ったものでないといけないと思いますよ。

今、どこでもまちづくりが盛んでしょ。建築家、行政、住民でやっていますが、そこに画家を参加させてほしい。絵になるまちをつくるという意味で。まちは人が生まれ育つ場所でしょう。人間に環境は大きな影響を与えると思うんです。自分のまち、ふるさととは、人の記憶の中に美しくよみがえるものでないか…。荒々しいものを毎日見ていると心も荒々しくなってしまう。

◆人工と自然が調和した風景

例えば、北米のプリンス・エドワード島はよかったですね。丘、また丘の中に木と白い家がぼつん、ぼつんと立っている。パリ、ロンドンも奥が深いし、スコットランドなんか全土が公園みたいですね。田舎に都会があり、都会に自然があるんです。人工と自然がうまく調和している。言ってみれば、全土が自然のテーマパークみたいな。おしなべてヨーロッパの都会の近郊には文化の積み重ねを感じます。時間をかけ、手間隙をかけてつくりあげたというような…。ロンドンを歩いていると、階段が200年前のものだったりするんですが、それがまたビクともしない、しっかりしていて。これこれ、これだよ、と思う。何世紀たっても揺るぎないものだ、と。

建築は第二の自然といってもいい。
だから風景に美しく溶け込むものであってほしい。

葉さんの近作。作品のテーマは平和、人権などで、どれも葉氏のヒューマンイズムが表現されている



◆「時間をかける価値」を見いだす

しかし、近代は経済が優先でしょう。もうかるか、もうからないか。建築もそう。早く、安く、手間隙かけずに。手作りとか、職人気質とか、時間をかけてじっくりと何かをつくりあげる心が軽んじられるのが問題です。人と人との関係もそうです。恋愛だってそうですよ。じっくりとお互いを知って気が付いたら愛し合っていた、というロマンスが失われましたね。

例えばドイツは第2次世界大戦で壊されたまちを復元しました。イギリスだって産業革命で破壊された自然を200年かけてきれいにした。今のテムズ川は本当にきれいになりましたよ。時間をかけて長年蓄積されたものを大切にするのも文化じゃないですか。

本当は日本だって10年前の貿易黒字をまちづくりにもっと使っていたら、今よりもっと美しく豊かなまちに住めたはずなんです。でも言ってみれば入れ物一巨大なビルばかり造ってしまって、そこに飾る芸術作品もない、という状態になってしまったんですね。

◆他者とともにある共存意識でものづくりを

建築というのは文明論や人間の深い意識にまで及ぶんです。個性を発揮することも、時には大切。でも、建築は景観の中で大きな割合を占めるものです。第二の自然といってもいい。その大きなスケールで個性を発揮しすぎてもらったら、困る。統一感のためには何か制限を設けてもいいのではと思います。パリやウィーンみたいに、高さを制限するとか。美が感じられないものは、個性があっても醜いと僕は思うんです。

この50年間に造られたものを見ると素材はガラスやプラスチック、ごく一部の建築家の作品以外は自然と調和していない。それに近代建築は、飾らないこと—シンプルを目指しすぎて、窓がない四角い箱を造ってしまった気がします。近代建築家はエジプトの石造建築を基礎としていると言われるけれど、あれだって、ディテールは芸術的です。

来年阿蘇の長陽村に美術館をオープンします。阿蘇の草原をそのまま

生かして、丘を走っていったらぼつんと立っていた、というたずまいにしたい。できあがったら、ぜひ来館してください。葉はあんなに偉そうなことを言っていたけど、自分のはだめだ、と言われないようにしないといけませんね。

建築は芸術の一分野ですが、芸術は人が幸せになるためにある。人生は幸せに、心地よく暮らすためにあるんです。苦悩を描くだけが芸術じゃない。僕は自分を一種のサービス業だと思っていますから。僕の絵を見て心地よく幸せな気分になってほしい。科学技術だって同じ。人を幸せにするためのものです。これからの科学技術はソフト、精神性がますます必要になってくると思います。

造形、まち、建築…あらゆるものは他者とともにあるという共存意識をもって、やさしさや穏やかさをもたらすこと。それが表現者の役割ではないでしょうか。



丹念に絵の具を塗り重ね、独特の色あいで風景が描かれる

伝統とアートポリスを訪ね、宇土半島に行く

明治時代から伝わる白壁、港が残る一方で、アートポリス建造物による新しい景観づくりが進む宇土半島。慣れ親しんだ光景を愛し、新しい建物を活かしていこうとするまちと人々を訪ねた。



不知火文化プラザの図書館では子どもたちが熱心に読書をする



三角町の海の玄関東港にある「海のピラミッド」内部では、地元小学生の絵画展なども行われる



宇土マリーナに5月にオープンしたオーガニックレストランからは、マリーナと有明海が望める



不知火文化プラザの前庭では、コンサートなども開かれている

不知火町のなまこ壁は、しつこい強化するた
めに人々が考えた知恵のひとつ



明治時代の趣を残す三角町の西港では、レストランなども整備されている



直すときも「町並みに合うかどうか」をみんなで相談しながらの活動を行っている。また、地区の子どもたちを集め、土壁づくり体験も実施。土蔵白壁の大切さを伝えたいというのが狙いだ。「住む人たちの心のよりどころになる町並みを残したいとです」。訪れる人に土蔵の歴史を語りながら、静かな町並みを愛する人々の活動が続いている。

古い町並みが残る一方、平成11年3月に完成したのが、アートポリス建造物でもある不知火文化プラザ。町を象徴する神秘の火「不知火」をイメージしたデザインの図書館と美術館だ。図書館は児童書が多いのが特徴。子どもたちにより多くの良書に触れてほしいという思いからだという。その活動の一環として、お話し会、読み聞かせ会なども定期的に行っている。また美術館は、地元出身の芸術家の作品を多く所蔵し、シリーズとして企画展を行っている。「こんな人がいたのか」という声も聞かれ、町内の芸術に対する意識が高まりつつあるという。定期的に絵画教室なども開催されており、町内文化発信の場として、不知火の文化を背負う役割を担い始めている。

地域文化を支える、白壁とアートポリス

宇土郡不知火町松合地区に広がる土蔵白壁の町並み。かつて港町として知られた松合地区は、人家が密集しており、一度火事が起きると大きな被害を受けていた。代々の庄屋は、被災住民の救済と防火対策のために、土蔵を作ったと言われる。しかし、手入れに時間と費用がかかるため、白壁は次々に壊されていった。「慣れ親しんだ風景がなくなっていくのを見て、なんとかせよ、と思ったとです」と語るのは「松合の町並み保存会」会長の本田安正さん。町並みを保存するため保存会を発足させ、住民協定を作ったメンバーの一人だ。一軒ずつ訪ね歩き、町並みを残すことがいかに大切なことなのかを熱心に話していった結果、98名が賛同。民家一軒を建て

西港と東港 港町を担う二つの景観と共に

港町、宇土郡三角町を代表する二つの港が西港と東港。明治三大築港のひとつと言われ、浦島屋などヨーロッパ風の建物を移築復元した西港と、アートポリス建造物でもあるフェリーターミナル「海のピラミッド」を中心に、人々の生活を担っている東港。二つの港はそれぞれ、町に潤いと活気をもたらしている。西港では、その町並みと雰囲気を活かし、鹿鳴館パーティや小泉八雲の朗読会などが民間主導で行われるようになった。一方の東港にある巻貝状の「海のピラミッド」内部には、約200メートルに及ぶ螺旋状のスロープと高さ25メートルの吹きぬけ空間。頂上から潮風が流れ込み、訪れる人に海の爽やかさを運ぶ。海の町・三角のシンボルとして、また、重要なラ

ンドマークの役割も果たしている。最近、ターミナルを訪れる人々に、三角の物産を知ってもらおうと、農産物や加工品、花などを販売する「みすみフィッシャーマンズワフ ラ・ガール」を開設。農業に従事する女性たちが、パンなどの新しい商品づくりに挑戦している。

伝統の石とアートポリスを活かす、住民のアイデア

轟水源、地蔵祭などで知られる宇土市。現在、住民主導の下行われているのが、市内各地にあるお地蔵さんと、古くから産出している馬門石を活用したまちづくり。市内商店街の店舗を使い、馬門石を使ったお地蔵さんづくり体験をするなどの動きが始まっている。馬門石は、轟水源から始まる轟泉水道の水道管や、船場橋の素材にも使用されている。石棺など、市内各地には馬門石を活用したものが多く残されている。

この宇土市の西部にあるのが、アートポリス建造物「宇土マリーナ」。クラブハウスなどを備えた、本格ヨットマリーナだ。周辺には芝生広場が広がり、キッズサッカーやグラウンドゴルフなど、規模の大きなスポーツ大会が数多く開催されている。それだけでなく、地元の宇土高校では、ヨット部を設立。恵まれた環境のもと、連日、練習に利用されている。また、地元の人々には、広場の一部が開放されており、グラウンドゴルフの練習や、ジョギングの場など、住民の憩いの場であるとともに、スポーツ発信の場のひとつとして機能し始めている。住民たちの元気とアイデアを引き出すのが、宇土市の景観のようだ。

新しいものと古いもの。それぞれの良さを活かすことで、活気のある地域が生まれる。さまざまな景観が作りだすのは、人の心を動かす力なのかもしれない。

三角湾フェリーターミナル「海のピラミッド」は東港のシンボルとして知られている



宇土マリーナの芝生広場では、地元の人々がグラウンドゴルフを楽しんでいる



宇土市街の定府地区は、参勤交代の廃止に伴い帰国した藩士の館があった地域。その面影を残す世帯が、伝統的な景観をかもしている



宇土市の景観に自然にけこむ船場橋。馬門石で作られた代表的建造物のひとつだ

鹿北町 アート・プロジェクト

鹿北町

鹿北の自然と調和した「ランドアート」の中で「鹿北ならではの」の体験を提供したい



「道の駅とこのアートポリスで、お客様にどうしてほしいですね」と話す才田係長
「ここにしかないものしか、売りたいくない」米島支配人のこのポリシーが小栗郷の人気をつくっている

お弁当を食べたり、イベントに使ったり

「これ、何だろう?と調べてほしかったんですね」。鹿北町アート・プロジェクトの設計者・山田良さんと言う。豊かな緑の中に町特産のアヤ杉で作った木のフレームが並び、幼い子どもたちは木のフレームをトンネルに見たてて走り、大きな子どもたちはフレームをアスレチックに見たてて遊んでいる。「お弁当を広げたり、イベントにも使ってほしい」と考えた山田さんはそのために電源設備等も設置している。

道の駅をもっと魅力的に

ここは熊本県と福岡県の県境にほど近い道の駅かほく「小栗郷」。国道3号沿いにあり、県外、特に福岡県からの客で休日にはにぎわう。鹿北町アート・プロジェクトは物産館や食事処といった道の駅の建物の背後にある。鹿北町総務課の才田豊昭係長は「おかげさまで多くの方に利用いただいているこの道の駅の背後をもっと魅力的にしたい、と思ったんです。設計者は東京の方なんです、地元の人間にとっては見なれた緑の風景が、都会からきた人には非常に新鮮に映るんですね。「鹿北の自然そのものがアートといえるほど豊かなんです」と語る設計者は、元は棚田だったという地形を活用するなど、自然の豊かさを生かして新しい風景をつくりだした。



夜間はライトアップされ、光の中に木のフレームが浮かび上がる

豊かな緑と木のフレームに「いいねー、これは」

小栗郷の米島正剛支配人は「福岡からいらっしゃったご夫婦が、いいねー、これは、と木のフレームを触りながらここを散策されるんですよ」とお客様の反応を語る。「小栗郷では、ここにしかないもの、を売っていきたい」と話す米島支配人の言葉通り、鹿北町の産品を味わいながら、鹿北町の自然の中を散策する一そんな「鹿北ならではの」を今回のアート・プロジェクトが実現してくれる。



緑豊かな里山の風景の中にトンネルのような木のフレームが並び風景は「何だのうっ」と興味をそそる



木のフレームは、ささくささく微妙に木が透して見える

八代市立 高田あけぼの保育園

八代市

新しい園舎が子どもたちをもっとイキイキ、もっと元気に



木をふんだんに使った園内は、透明のガラスを通して、太陽の光が入る明るい雰囲気。



設計者や子どもたちが一緒にデザインした遊具もあふれる。

子どもたち、保護者、スタッフ、建築家との「対話」から生まれたプラン

アートポリス参加プロジェクトで初めての保育園となった、八代市立高田あけぼの保育園。

木をふんだんに使った園内は、透明のガラスを通して、太陽の光が入る明るい雰囲気。「子どもたちが安心して遊べるように、子どもの視点で造ってほしい」と語るのは村上則子園長。その言葉通り、建物の計画は設計を担当した建築家集団みかんぐみと保育園のスタッフ、保護者、さらに子どもたち自身も参加してのワークショップによって進められた。

子どもが思いっきり走りまわれる全く段差のない床、廊下から中の様子をうかがえるように窓が付けられた子ども用トイレといった利用者への配慮が随所に見える。また、壁を移動させれば部屋の広さを変える



太陽光が差し込む遊戯室。天井は斜交格子梁を用いている



「子どもたちが庭のよさは感じて遊ぶ園庭にしたいんです」と語る村上園長
「ワークショップには保護者だけでなく、子どもたちも一緒に参加したんですよ」と宮野先生

ことができ、保育形態の変化や、使用目的の変化にも対応できるようになっている。利用者や設計者との「対話」が、さまざまな形でプランに活かされているのだ。

新しい園舎に子どもたちも大満足!

「園舎が新しくなってから、子どもたちの表情がイキイキしてるんです。子どもは正直だから表情ですぐわかるんですよ。毎日75名の園児たちと接する宮野弥生先生。ガラスの壁は、身長低い子どもたちに大きな開放感を与えている。おもちゃや寝具など、備品が多い保育室内には大きめの収納スペースが設置され、「すっきりと収納できて、広々とスペースを使えるので、とっても助かってます」と先生たちにも好評。自然の素材と自然の光から生まれた温かさは、保育園で過ごす子どもたちや先生たちに元気な笑顔をプレゼントしてくれたようだ。

清和文楽邑道の駅 公衆トイレ

清和村

文楽館、物産館と共に村の魅力を発信



「ちょっと立ち寄って自然空間を満喫してほしいですね」と清和村役場の平野さん
「毎日見ていると愛着がわいてくるんですよ」と清和文楽館の渡辺さん

景観を引きたてる道標の行灯

清和村の伝統文化である文楽を継承、発信する「清和文楽館」。木材をふんだんに使った建物は、訪れる人の心を和ませる。ここに、平成13年3月、新たに公衆トイレが加わった。外壁に黒塗りの杉板とガラスを使った建物は、夜、建物内の明かりが上部のガラスから漏れ、道に行灯が灯っているかのような風情を醸す。

「すぐ隣にアートポリス参加プロジェクトの文楽館があります。また、文楽館と同じ設計者による物産館も隣接しています。これらの建物との調和がこのトイレのテーマ。よりよい企画でこのテーマを実現したいと設計競技を行いました」と語るのは、清和村資源活用課の平野澄真さん。アートポリスのコンペで設計者に決定したのが小材健治さんだった。「二つの建物を引きたてるよう、できるだけシンプルな造りにしました。それでいて、ランドマークにもなるよう、夜と昼で表情が変わるよう工夫したんです」。今後、地元の人や情報を運び、訪れる人には清和村の魅力を知るきっかけをつくる役割が期待されている。

使う人、地元の人に愛着を持ってもらえるようにしたい

「トイレができてから、人が多くなったと思います。何だろう、と立ち寄る人も多いようです」。建物の集客効果を、清和文楽館の渡辺久さんはそう語る。気持ちよく使ってもらいたい、との思いから、文楽館と物



産館の職員が交代で毎日数回の掃除をしているという。建物への愛着は村の人にもある。トイレトーパーなどの備品整備、使い心地など、村民から声があがり改善されたものも少なくない。渡辺さんは「きれいですね、と言われるとうれしいですね。物産館が休みでもトイレは開いている。だから、この建物に立ち寄ることで、村の生活や文化を知ってもらえるようになればと思います」。



文楽館、物産館と調和したデザイン

外部も内部もふんだんに木を使っている

●所在地:上益城郡清和村大字大平

氷川ダム管理所

泉村

事務所としての存在感と新しい発信機能
ハードの充実からソフトの充実へ向かって



紅葉が有名な泉村だが、このダム周辺は桜も美しい。4月から5月にはこのデッキから見たような新緑を見ることができる



展望デッキは吊り橋のイメージ。湖面に浮かんでいるように見えるデザイン効果がある



このホールが地域と関わっていく日も遠くない

管理+交流、二つの「顔」をもった建物

泉村の深い緑が湖面に影を落とす氷川ダム。その湖畔に立つ管理所は10月1日開所式を迎えた。「この管理所の機能は二つ。一つはもちろん管理。そしてもう一つ交流の機能も果たしてほしい」と話すのはダム管理所の田代静正管理課長と山下嘉敏工務課長。その要請にこたえて設計者の野中暉夫さんは「本来の管理機能を十分に果たせるよう、建物自体はコンクリートの箱としています」。コンクリート打放しの外観はダム自体に負けない存在感がある。「同時にダムの迫力に負けないダイナミックな階段塔と展望デッキで来訪者にも楽しんでもらえるようにしました」と野中さんは話す。

最上階のバルコニーや吊り橋をイメージしたという展望デッキからはダム湖とそれを取り巻く豊かな自然が楽しめる。

文化発信と交流— 新しい使い方を地元と模索中

泉村には同じくアートポリス参加プロジェクトの物産館「ふれあいセンターいすみ」がある。村の玄関口に当たる場所にあり、村外から訪れるには便利だ。今回完成したこの事務所も、国道443号から入ってすぐとアクセスも良好。物産館とともに、発信のためのサテライト的存在だ。

村外からの訪問者だけでなく、地元の人との交流も管理所では考えている。工務課主任技師の坂口信幸さんは「事務所にある小ホールを、将来は多目的ホールとして使ってほしい。今、地元の皆さんと一緒にどう使っていただくか協議を進めています」。絵画や陶芸など作品を展示するなど、地元の人たちにとって文化を発信したり交流できる場になりそうだ。

管理所が管理機能だけにとどまらず新しい交流を生もうとしている。

●所在地:八代郡泉村大字下岳

くまもとアートポリス プロジェクトガイド

各プロジェクトの位置は裏表紙の「くまもとアートポリスプロジェクトマップ」で確認いただけます。
(プロジェクト番号は地図上の番号に対応しています。)

熊本市

1 熊本北警察署 篠原一男+太宏設計事務所 熊本市草葉町...見学、写真撮影は要許可、バス駐車不可...096-323-0110	2 県営保田窪第一団地 山本理顕...熊本市保田山...外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません	6 熊本市花畑パークトイレ 大塚豊一...熊本市花畑町...近隣に有料駐車場あり	7 熊本市上江津湖畔トイレ 日田光...熊本市神水本町	8 熊本市営新地団地A 早川邦彦...熊本市清水町新地...外観のみ見学可、駐車不可	9 熊本市営新地団地B 緒方理一郎...熊本市清水町新地...外観のみ見学可、駐車不可
10 熊本市営新地団地C 富永謙...熊本市清水町新地...外観のみ見学可、駐車不可	11 熊本市営新地団地D 西岡弘...熊本市清水町新地...外観のみ見学可、駐車不可	12 熊本市営新地団地E 上田憲二郎...熊本市清水町新地...外観のみ見学可、駐車不可	14 熊本市営託麻団地 坂本一成+長谷川逸子+松永安光...熊本市西原...外観のみ見学可、駐車不可	17 県営帯山A団地 新納至門...熊本市帯山...外観のみ見学可、駐車不可	27 県営新渡鹿団地 小宮山昭...熊本市鹿鹿...外観のみ見学可、駐車不可
32 再春館レディースレジデンス 妹島和世...熊本市帯山...外観のみ見学可...096-384-5555(再春館製菓所総務課)	33 県立美術館分館 エリアス・トーレス+ホセ・A・M・ラベニャ+大和設計...熊本市千葉城町...9:30~17:00...月休...096-351-8411	35 県営竜蛇平団地 元倉眞琴...熊本市帯山...外観のみ見学可、駐車不可	40 白川橋景観整備 藤江和子...熊本市二本木	48 熊本北警察署坪井交番 マニュエル・タルディッツ+加茂紀和子...熊本市坪井町	57 水前寺江津湖公園管理棟 牛田英作+キャサリン・フィンレイ...熊本市広木町

荒尾・玉名

29 玉名天望館 高崎正治...玉名市大倉...0968-75-1122(市役所)	50 有明フェリー長洲港ターミナル 石田敏明...玉名郡長洲町大字長洲...6:00~20:00...0957-78-3358	51 荒尾警察署長洲交番 塚本政利+設計機構ワークス...玉名郡長洲町大字長洲
--	--	--

鹿本・菊池

21 県立裝飾古墳館 安藤忠雄...鹿本郡鹿央町岩原...9:30~17:00...月休...入場料410円...0968-36-2151	58 鹿北町アートプロジェクト 山田良+山田綾子...鹿本郡鹿北町大字岩野	59 県立農業大学校学生寮 藤森照信+入江雅昭+柴田真秀+西山英夫...菊池郡合志町栄...見学、写真撮影は要許可...096-248-1188
--	--	---

阿蘇

31 草地畜産研究所畜舎 トム・ヘネガン+インガ・ダグフィンスドッター+桜樹会・古川建築事務所...阿蘇郡阿蘇町大字西瀬浦...0967-32-1231	38 花の温泉館 ワークショップ...阿蘇郡産山村大字田尻...10:00~21:00...第1・3・5火休...入浴料500円...0967-25-2341	39 TOTO AQUAPIT ASO 木島安史...阿蘇郡白水村大字中松	41 杖立橋+Pホール 新井清一...阿蘇郡小国町大字下城...0967-48-0484
46 馬見原橋 青木淳+中央技術コンサルタンツ...阿蘇郡蘇陽町大字馬見原	53 草千里公衆トイレ 塚本由晴+齋藤百樹建築設計事務所...阿蘇郡阿蘇町	55 阿蘇・散墨園 堀正人...阿蘇郡阿蘇町黒川	62 一の宮警察署内牧交番 中尾寛+岩佐設計...阿蘇郡阿蘇町内牧

八代・水俣・芦北

5 八代市立博物館・未来の森ミュージアム 伊東豊雄...八代市西松江城町...9:00~17:00...月休...入場料300円(常設展)...0965-34-5555	19 湯の香櫓 岸和郎...芦北郡芦北町湯浦...夜間照明19:00~22:00...0966-82-2511(役場)	36 つなぎ物産ギャラリー 北山孝二郎...芦北郡津奈木町岩城...9:00~18:00...第1水休...0966-78-2000	49 ふれあいセンターいずみ 武田光史+ロゴス設計同人...八代郡泉村大字岳...9:00~17:00...水休...0965-67-3500
52 県立あしきた青少年の家 エリア・ゼンゲリス+エレニ・ジガンテス+鈴木了二+島村建築設計事務所...芦北郡芦北町鶴木山...0966-82-3092	61 氷川ダム管理所 野中暉夫...八代郡泉村大字下岳...0965-67-2921	63 八代市立高田あけぼの保育園 みかんくみ...八代市本野町...見学、撮影は要許可...0965-32-3923	

宇城・上益城

4 三角港フェリーターミナル 葉祥榮...宇土郡三角町大字三角浦...0964-53-1255	20 清和文楽館 石井和盛...上益城郡清和村大字大平...9:00~16:30...月休...定期公演:第2・4日曜...0967-82-3001	23 鮎の瀬大橋 大野美代子+中央技術コンサルタンツ...上益城郡矢部町	26 石打ダム管理所 青木茂...宇土郡三角町大字中村...外観のみ見学可
--	---	---	--

42 石打ダム資料館 入江経一...宇土郡三角町大字中村...9:00~17:00...月休...0964-54-1191	45 不知火文化プラザ 北川原温+伊藤建築事務所...宇土郡不知火町高良...0964-32-6211(図書館)	54 宇土マリーナハウス 吉松秀樹...宇土市下網田町...8:30~17:00...火・水休...0964-58-4500	56 漁業取締事務所 小材健治...宇土郡三角町大字三角浦...0964-52-2183	66 清和文楽邑道の駅公衆トイレ 小材健治...上益城郡清和村大字大平
--	---	---	---	--

天草

16 牛深ハイヤ大橋 レンゾ・ピアノ+ピーター・ライス+岡部憲明+マエダ...牛深市牛深町	25 松島町合津終末処理場管理棟 齋藤宏...天草郡松島町大字合津...見学、写真撮影は要許可...8:30~17:15...土日祝休...0969-56-3195	37 教会の見えるチャペルの鐘展望公園 梅田正徳+スペースデザイン設計事務所...天草郡河浦町崎津...09697-6-1111(役場)	43 天草ビジターセンター・天草展望休憩所 古谷誠章+中川建築設計事務所...天草郡松島町大字合津...9:00~17:00...月休...0969-56-3665	44 うしぶか海彫館 内藤廣...牛深市牛深町...9:00~18:00...第3火休...0969-7-3-3818	47 天草工業高校実習棟・体育館 室伏次郎+SDA建築設計事務所...本添市亀場町...0969-23-2330
--	---	---	---	--	---

人吉・球磨

3 加久藤トンネル換気所 小山明+バシフィックコンサルタンツ...人吉市大畑町、宮崎県えびの市東川北...国道221号加久藤トンネル脇...外観のみ見学可	22 球磨工業高校伝統建築コース加工組立室棟 象設計集団...人吉市城本町...見学、写真撮影は要許可...0966-22-4189	34 湯前まが美術館・公民館 桂英昭...球磨郡湯前町...9:30~17:00...無休(年末年始を除く)...入場料300円...0966-43-2050
--	---	--

その他

13 県道橋景観整備(基礎調査) 倉俣史朗+高木富士川計画事務所...完了	15 光のまちづくり 岩崎敬+瀬口英徳...構想完了 山鹿市	18 玉名市文化施設構想 豊田文生...構想完了 玉名市	24 公園ファニチャーデザイン 同整備マニュアル 沖健次+東京ランドスケープ研究所...完了	28 大津町第二庁舎・町民交流施設 鈴木了二...設計完了 菊池郡大津町	30 大甲橋景観整備 倉俣史朗...設計完了 熊本市	64 南小国町営杉田団地・矢津田団地 片山和俊+川崎設計事務所(基本設計)+太宏設計事務所(実施設計)+DIK設計室...工事中 阿蘇郡南小国町	65 砥用町町民センター 八束はじめ...工事中 下益城郡砥用町	67 西合志町保健福祉センター 今村雅樹+田尻設計...工事中 菊池郡西合志町	68 苓北町多目的集会所 阿部仁史+小野田泰明...工事中 天草郡苓北町	69 小国町立北里小学校屋内運動場 末廣香織...設計中 阿蘇郡小国町
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---